

若者の意見を聴く会 3地域まとめ

■開催概要

- ・石見地域 : 令和4年10月9日(8人参加)
- ・瑞穂地域 : 令和4年10月23日(7人参加)
- ・羽須美地域: 令和4年11月12日(3人参加)

■意見を踏まえて

- ・自分ごととして捉えられる範囲→集落が多い
- ・参加意欲が低い←意義がわからない、上の世代から押し付けられる、意見を言う場がない
- ・参加意欲が高い←若者だけで物事を決めて活動できる(上の世代は手伝ってくれる関係)
楽しいと感じること、子ども関係のこと
- ・親世代が集会等に参加(戸主制)
 - 若い世代は地域のことを決める場に参加する機会、情報を得る機会が少ない
(団地や住宅に住んでいる人も同傾向)
 - 地域のことが分からない
 - 意見を求められても言うことができない(言いたいと思わない)
「大変そう」という印象だけ先行
 - 参加意欲低下
- ・移住して住宅に住んでいる人は関わり代がない
- ・地域の情報伝達: 口伝えや紙では限界がある
 - スマートフォン上で確認できるツール(アプリ、SNS等)のニーズは高い
- ・町内出身者では、実家がある地区と異なる地区に住んでいる場合、実家がある地区の活動に参加している人が多い
 - 地縁のあり方が複雑